

## 『環境問題常識テスト』

★以下の問題にチャレンジして、環境知識レベルをチェックしてみてください。

〈答えは3面の最下段に掲載〉

1.2018年12月ポーランドのカトウィツェで、COP24と呼ばれる国際条約の締結国会議が開かれたこの条約の名称は？

- a.国連生物多様性条約
- b.ロッテルダム条約
- c.国連気候変動枠組条約
- d.ストックホルム条約

2.2017年の主要な3つの温室効果ガス世界平均濃度は観測史上最高を更新した。3つのガスで最も比率が大きいのはCO<sub>2</sub>、3番目は一酸化二窒素、では2番目は？

- a.メタン
- b.フロン
- c.水素
- d.塩素

3.宇宙から温室効果ガス濃度を観測するための衛星が2018年10月に種子島宇宙センターより打ち上げられた。この衛星の名は？

- a.はやぶさ2
- b.おおすみ
- c.ひまわり
- d.いぶき2号

4.電気の流れる方向が一定のものを(イ)、プラスとマイナスが周期的に入れ替わるものを(ロ)という。

(イ)・(ロ)の順に適切な言葉を入れたとき、正しいものは？

- a.交流・直流
- b.直流・交流
- c.三相・単相
- d.単相・三相

【環境市場新聞：R1.夏季第57号より転載】

## 『環境トピックス』【1】

2019年6月28日、29日にG20大阪サミットが開催された。主要な世界経済の諸課題に対して、自由貿易の推進やイノベーションを通じた世界経済の成長牽引と格差への対処、環境・地球規模課題への貢献等が『大阪首脳宣言』として発信された。特に第4セッション「気候変動・環境・エネルギー」において、気候変動・エネルギー及び海洋プラスチックごみ対策といった地球環境問題への対処における、イノベーションの活用とパリ協定の長期戦略及び脱炭素社会という目標実現に向け努力していくことをG20首脳が合意した。併せて2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染を「0」にすることを旨とする『大阪ブルー・オーシャン・ビジョン』の実現に向け、途上国への廃棄物管理に関する能力構築やインフラ整備等の支援を日本として表明した。別に、パリ協定の実施の重要性について、再生可能エネルギーの活用と必要性と必要な措置について実施していくことで、今後新しい産業や雇用創出にも資するとの指摘から、環境問題・気候変動問題・海洋汚染問題の重要性について認識が共有されることになった。

最後に次期G20議長国であるサウジアラビアから、来年のリヤド・サミットに向けた抱負と今般採択された『大阪首脳宣言』に基づき、自由で開かれた、包括的で持続可能な未来社会の実現に向けた協力を継続していく旨の総括がなされ閉会した。

## 『環境トピックス』【2】

スーパーやコンビニエンスストアで買い物をした時に、レジ袋で気軽に持ち帰れる便利さに慣れ親しんでいないだろうか？これらのレジ袋は、早ければ2020年には有料化となる予定です！この背景としては、環境省が「プラスチック資源循環戦略案」を策定し、レジ袋やペットボトル等の使い捨てプラスチックの排出量を2030年までに25%削減させることを決定したことによります。

ちなみに、環境に対する意識の高い欧州各国では、既に2000年代前半に大部分の国で有料化しています。イタリアでは、2011年11月から生分解性プラスチックを除き全国的に使用禁止となっています。フランスでは、2016年7月にレジ袋配布禁止となりました。アジアの近隣諸国では、すでに韓国・台湾が法律で有料化。中国では、2008年6月1日から有料化しております。国際的に見るとレジ袋の有料化は自然な流れとなっております。今後は「マイバッグ運動」・「トートバッグを持参して買い物をする運動」を強化するもしくはレジ袋の原材料自体を環境に優しいものに変えていく必要があります。

## 『環境保全等へ向けた商品』

### カーライフプラン

※最大1,000万円まで無担保、返済期間は最長10年まで!!

《エコカー購入などに利用できる変動金利型のカーライフプラン・エコの場合》

※電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・低燃費かつ低排出ガス認定自動車等の環境に優しい新車のご購入を、金利引下げで応援します。



### 〈自由自在〉 個人・個人事業主用

※お使いみち自由

《太陽光発電設備設置等》

※保証人・担保は(株)クレディセゾンが保証するため不要です。



### 〈しんきんフリーローン〉 個人・個人事業主用

※お使いみち自由

《空気清浄装置設置等》

※保証人・担保は(社)しんきん保証基金が保証するため不要です。



川口信用金庫

https://www.shinkin.co.jp/ksb/

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号  
TEL048-253-3333 FAX048-254-2665

このパンフレットは環境に配慮し、世界の森林資源の責任ある利用を保證する「FSC®認証紙」にベジタブルインク(植物油インク)で印刷されています。



第13号  
令和元年11月発行

# かわしんの 環境活動報告書



撮影場所：見沼田んぼ  
撮影者：大和田保夫(土呂支店取引先)

かわしんはISO14001を平成16年5月に取得し、環境保全活動を実践しています。



川口信用金庫



JQA-EM4039  
本部及び本店営業部



# 「かわしん」は 地域経済の発展と環境保全に貢献する 信用金庫を目指しています。

皆さん、こんにちは。

今年もわが国では、各地で地球温暖化の影響と思われる豪雨に見舞われました。台風による川の氾濫や山崩れによる被害、地震などの自然災害も発生しており、きわめて深刻な状況で、早急な対応が求められています。

改めて、被災された皆様には衷心よりのお見舞いを申し上げます。

当金庫では常に災害時を想定し、コンティンジェンシープランを策定・運用し、災害時等に適切な対応ができるよう随時見直しも行い、態勢整備を行っております。

環境保全に対する対応として、平成16年5月に「ISO14001」を取得し昨年には「ISO14001：2015版」の新規格に移行しました。電力使用量の削減・紙の使用や廃棄の削減等で、CO<sub>2</sub>の発生を減少させる「環境負荷低減活動」に永年取り組んでおります。また、SDGs《持続可能な開発目標》の環境関連目標につきましても取り組んでいく方針であります。

金融機関として、皆様に本来業務を通じて環境保全に寄与する金融サービス、環境関連の金融商品を提供し、これからも地域経済の健全な発展に貢献して参りますので、今後とも皆様のご支援、ご愛顧を賜りますよう御願ひ申し上げます。

令和元年11月

会長 日下 義章  
理事長 木村 幹雄



## 環境方針

### I. 基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一丸となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

### II. 基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。
2. 上記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、および福祉・環境を大切にす真の地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。
3. 環境に関連する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、その環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

## 私たちの環境目標 平成31年度(令和元年度)目標

### I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

1	電力の使用	平成31年度(令和元年度)の電力使用量を平成21年度比▲8.70%削減する
2	廃棄物の分別と排出	廃棄物の分別を推進するとともに平成31年度(令和元年度)の物件費(別に定める費目)を平成21年度比▲8.70%削減し排出量の削減を図る
3	紙の使用・廃棄	平成31年度(令和元年度)の紙費用を平成21年度比▲8.70%削減する

### II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

1	既存の環境関連金融商品の拡販
2	新規の環境関連金融商品の企画・開発・販売
3	OA機器の効率的活用
4	コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
5	顧客へのISO普及・支援
6	各種地域貢献活動の立案及び実行
7	環境関連のその他サービスの提供

## 『緑化推進事業』への協力

1. 「彩の国みどりの基金」に200万円寄付を致しました。県の環境保全活動に役立ててもらおう意図であり、今回で21回目の寄付、総額は4,450万円となりました。
2. 「フラワーロード 緑と花でつくる川口の元気!!」のスローガンの基、フラワースタンドの設置に協賛し川口市の緑のまちづくり推進に協力しております。



## 『まちのクールオアシス』への参加

埼玉県「まちのクールオアシス」推進事業に協力し、熱中症についての情報発信拠点として、また来店客の一時休息所を設置することにより、熱中症等のお客様の臨時避難所として、適切な対応を行う態勢を整えております。



## 『クールビズ・ウォームビズ』の徹底

地球温暖化防止対策として、「クール・ビズ」「ウォーム・ビズ」の実施により電力使用抑制に努めています。具体的には、エアコン稼働の設定温度を遵守する等、各部店各々の工夫により、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量削減努力を行っています。



## 『エコライフDAY2019』への積極的参加

川口市は『地球環境にやさしい心を育むまち』として、CO<sub>2</sub>排出削減や地球環境保全の施策・取組を推進しています。その代表的な活動である「エコライフDAY」は、2000年に川口市で始まり全国で取り組まれています。かわしんは2010年からこのエコライフDAYに参加しています。令和元年6月に行われた取り組みには職員546人が参加CO<sub>2</sub>削減量は57万1917グラムとなりました。みなさんも簡単なチェックシートで生活の中で出来る環境への配慮を点検・実践できますのでぜひ参加してください。



## 『環境意識の啓発と徹底』

全職員はEMS(環境マネジメントシステム)カードを携帯しており、かわしんが掲げる『環境方針』/『わたしたちの環境目標』/『私たちの環境行動ルール』が記載されています。(環境目標は毎年更新しています)



## 『職員(内部監査員)への研修』

本部、本店営業部への異動者及び新入職員・パート職員を対象に環境教育を実施しています。環境マネジメントに基づいて計画的、継続的に行うことで環境に対する職員の知識と環境意識を啓発、向上させています。



## 平成30年度の事業活動・環境活動

### ● 電力とCO<sub>2</sub>排出量の削減

平成27年度から基準年度を「平成21年度」とし、引き続きより高い目標に挑戦していますが、今年も猛暑の影響により電力使用料は72万kWhとなり、基準年度と比較し74千kWh・11.5%増加しました。しかしながら役職員の努力もあり、前年比では ▲18千kWh、▲2.9%減少致しました。今後も、冷暖房設備の稼働状況の決め細やかなチェックと次年度に向けて更なる見直し作業を実施し、削減努力を図ります。

### ● 廃棄物の削減

事業活動に投入した全ての資源は消費され・廃棄されることから、物品の購入金額から廃棄物全量を把握しています。削減目標の基準年度である平成21年度(平成22年3月末)比にて、▲7.0%の目標に対して ▲15,270千円、▲11.5%減少致しました。目標は達成しており、今後も継続する所存です。(経費を使用した削減算定方式はISO更新時審査のストロングポイント評価を頂いております)

### ● 紙の使用

削減目標の基準年度である平成21年度(平成22年3月末)比にて、廃棄物全体のうち「紙の使用量」及び「排出量」について検証しました。基準年度比 ▲7,468千円、▲8.28%減少致しました。▲7.0%の削減目標に対し目標は達成しており、削減効果は持続しております。